



きらめく風

ホームページ
QRコード→



すすんで学ぶ子ども

心ゆたかな子ども

体をきたえる子ども

令和5年度 教育活動にかかわるアンケートの結果について

令和5年度(令和5年12月実施)も保護者の皆様にアンケートをお願いしましたところ、お忙しい中、多くのご家庭からご回答いただき、ありがとうございました。(回答率79.5%)

ご回答の中では多くの好意的、肯定的な評価をいただきました。また、評価が低かったものにつきましても原因を考え、次年度の課題としていきたいと思ひます。なお、児童にも類似したアンケートを実施し、質問内容が重なるところを比較しました。

今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

とても思う だいたい思う あまりそう思わない そう思わない わからない

○:保護者アンケート

●:児童アンケート

回答率:79.5%(保護者アンケート)

1 学校についての内容

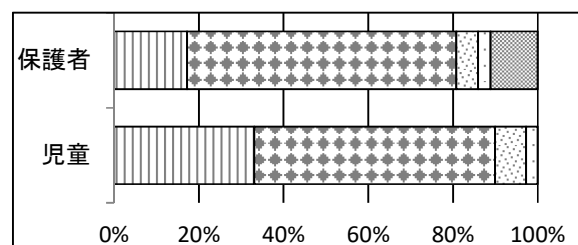
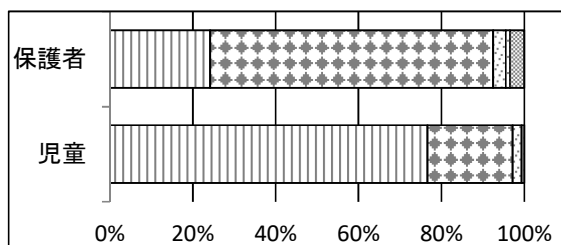
(1)学習指導

○ 学校は授業を工夫し、わかりやすく指導している。

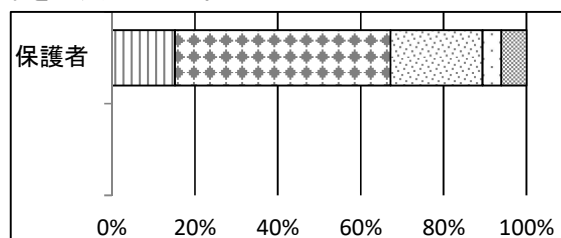
● 先生はじゅぎょうをわかりやすく教えてくれる。

○ 学校は道徳教育を通じて、いじめの指導や心の教育に努めている。

● 学校のきまりをまもって生活している。



○ 学校はタブレット等のICT機器を活用して、授業を工夫している。

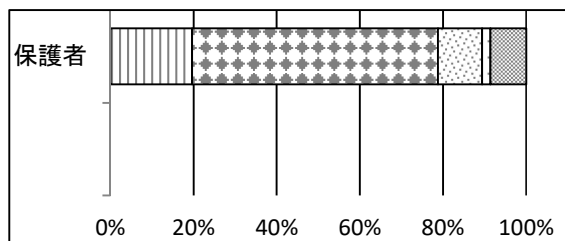


・「学校は授業を工夫し、わかりやすく指導している。」の項目では、肯定的な回答をした保護者と児童の差が6ポイントでした。今後は、さらに授業力向上に努めるとともに、より分かりやすい授業を実施していきます。

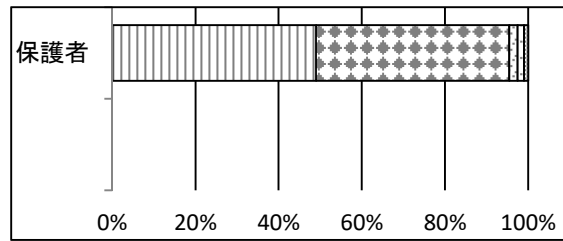
・タブレット等のICT機器を活用した授業の工夫については、27%の保護者の方から否定的な回答をいただきました。(昨年度比-2ポイント)今後も、個別最適な学びがICT機器を活用した学習の中で達成していけるように、教員の研修を充実させ効果的な指導を行っていきます。

(2)教職員の対応

○ 学校は、子どもについての悩みや相談に気持ちよく応じている。

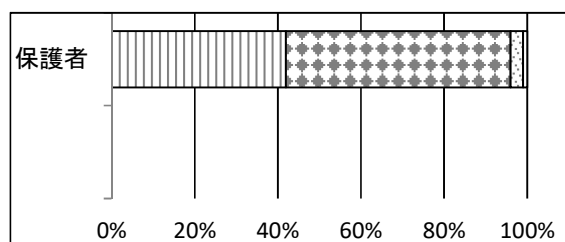


○ 学校は、電話や訪問した際の教職員の対応が適切である。

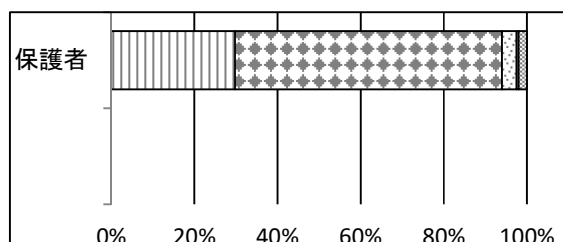


(3)ホームページ、地域との協力、施設設備等

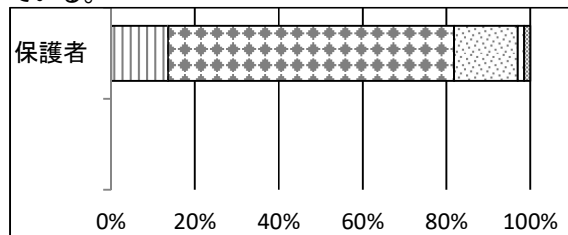
○ 学校は、お便りやホームページ等で教育活動の様子をわかりやすく伝えている。



○ 学校は、保護者や地域の方々と協力して教育活動を行っている。



○ 学校は、施設設備等の教育環境が整備されている。



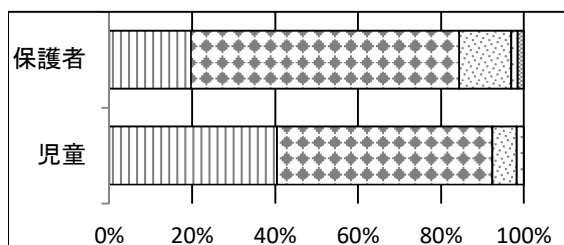
・子どもの悩みについては、教員、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員等が連携を図りながら継続して対応していきます。
 ・保護者や地域の方々との活動については、肯定的な回答をした保護者の割合が、昨年度比で3ポイントプラスでした。来年度も青少年育成第六地区委員会、町会、PTAと協力して活動を進めていきます。
 ・施設設備等については、今年度は北校舎の補修工事、来年度は南校舎の補修工事となります。安全で安心な学校運営を確実にを行うため、引き続き、全教職員で安全点検を定期的の実施していきます。

2 児童についての内容

(1)学習指導

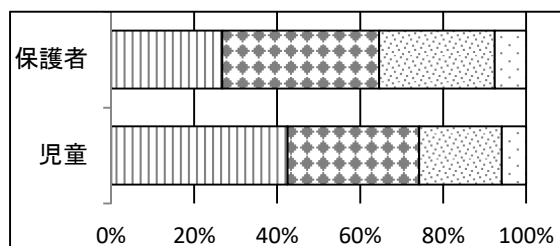
○ 子どもは、学習内容をよく理解している。

● 授業で学習したことがよくわかっている。



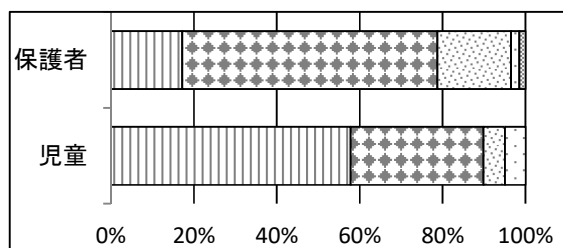
○ 子どもは、すすんで読書をしている。

● すすんで読書をしている。

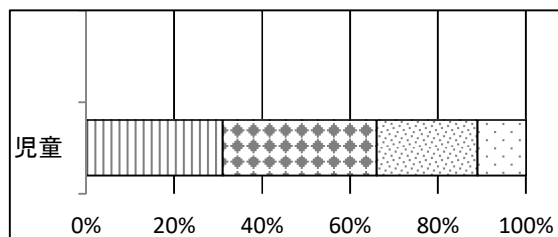


○ 子どもは、家庭学習を通じて、基礎基本を身につけている。

● 宿題をしっかりと行っている。



● すすんで発表をしている。

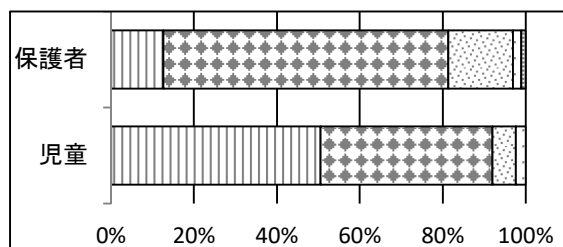


・主体的な読書については、肯定的な回答をした児童の割合が、昨年度比で5ポイントマイナスでした。引き続き、意欲的に読書に取り組めるような活動を工夫していきます。
・家庭学習については、肯定的な回答をした保護者と児童の差が11ポイントでした(昨年度比±0)。今後は、基礎基本がより身に付くように、東京ベーシックドリルやタブレット端末から使用できるドリルパークの活用を推進していきます。

(2) あいさつ、運動等

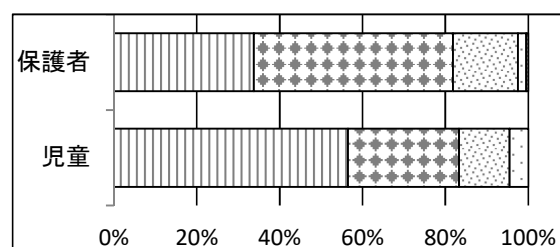
○ 子どもは、あいさつや言葉づかい等の基本的生活習慣が身に付いている。

● あいさつをしっかりと行っている。



○ 子どもは、すすんで外遊びや運動をしている。

● すすんで外あそびや運動をしている。

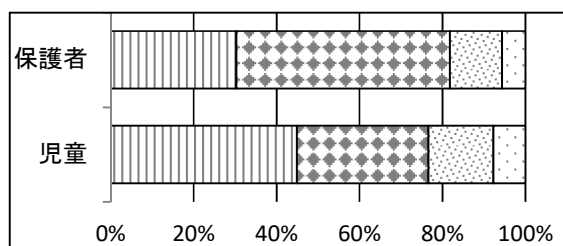


・あいさつについては、肯定的な回答をした保護者と児童の差が11ポイントでした。(昨年度比±0) 今後は、学校だけでなく、家庭や地域においても主体的にあいさつができるように継続的に指導していきます。
・外遊びや運動については、約8割の保護者と児童が肯定的な回答をしています。今後は、体育の授業を通して運動の楽しさを味わわせるとともに、体力向上につながる体育的行事をさらに工夫していきます。

(3) 家庭での会話

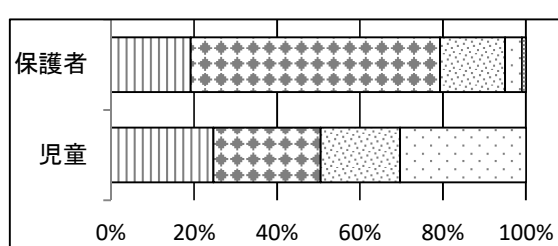
○ 子どもは、学校での出来事について、よく話をしている。

● 家の人に、学校のことをよく話している。



○ 家庭では、タブレットやスマートフォン、インターネット等の使い方について話し合っている。

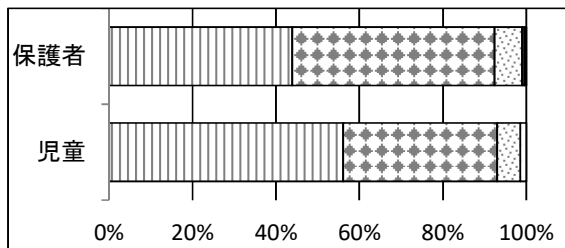
● 家でタブレットやスマートフォン、インターネットの使い方について、話し合っている。



・家庭での会話については、保護者よりも児童の方が肯定的な回答の割合が少なかったことが分かりました。今後は、道徳教育を通して家族の大切さを考えさせたり、学校の出来事を積極的に話したりするように指導していきます。特に、SNSルールについては、保護者と児童の肯定的な回答の差が28ポイントもあり、児童においては51%と低い状況です。児童の意識を高く保つためには、ご家庭での話し合いが欠かせません。SNSルールについては、日常的に繰り返しお子様との確認をお願いいたします。学校でも引き続き、折に触れて指導してまいります。

(4) 学校生活

- 子どもは、楽しく学校生活を過ごしている。
- 学校生活は楽しいと思う。



・学校生活の楽しさについての質問では、9割以上の保護者と児童が肯定的な回答をしました。今後も学習、生活、行事等の教育活動全体を通して教育目標の実現を図り、児童が健やかに伸び伸びと成長していけるように、教育活動に尽力してまいります。

3 学校評議員より ※学校評議員会 2/2(金)実施

- ・書き初め展を拝見した。バランスよく書かれているものが多く感心した。知っているお子さんの作品を見て、その子が一生懸命に書いている様子が思い浮かび微笑ましく思った。
- ・正門の掲示板を楽しみに拝見している。
- ・町会や地域の活動、青少年育成活動等、活動の仕方を工夫したり変えたりしていかないと、活動自体の継続が難しくなっている。
- ・不登校や登校しぶりのお子さんたちへの支援の様子が分かった。地域でもできることがあれば協力したい。
- ・ひろばに来るお子さんたちの8割は、宿題を済ませてから遊ぶ習慣が身に付いている。遊んでいるときも、学年分け隔てなく仲良く遊んでいるので、たてわり班活動の成果であると感じている。
- ・ひろばで遊んでいるときの言動が気になるお子さんがいる。子供六法をもとに、言ってはいけない言葉、やってはいけない行動について指導をした。
- ・ご家庭での生活リズムを整えていくことが、保育園や幼稚園から小学校への円滑な学校生活への接続となる。
- ・IT機器の整備や普及は公教育に必要であるが、教育効果と同列で比較されたり議論されたりするべきではない。学齢に応じてIT機器の活用の仕方があって然るべきで、一様に活用できているかどうかの判断は難しいと思う。アンケート項目の文言も検討したほうがよいのではないかな。
- ・練馬地区のジュニアリーダーが少なくなっている。ジュニアリーダーや青年リーダーとして活動した子供が、その後も地域社会で活躍している姿がある。地域社会の活性化のためにも、ジュニアリーダー育成に力を入れていきたい。
- ・外国語の授業では、担任の先生、ALT、外国語の先生と3人で授業をしていた。英語が飛び交う中で、子供にとっても興味がわくような内容でとても素晴らしいと思う。子供たちも英語を聞く耳が育っていると感心した。返答は日本語もあったがそれでよいと思う。英語に小さいうちから慣れ親しむことが大切だと改めて思った。
- ・共働きが当たり前の世の中になり、親同士のコミュニティや地域のコミュニティが昔ほど強くなった。社会構造が変化しPTAや地域の活動が追い付かなくなってしまった現実もある。親の世代だけに頼るのではなく、祖父母世代の保護者や地域の方々に協力をいただくことも必要になってきていると思う。また、学校をどう支援していくかもこれからの課題であると捉えている。